

A panel discussion on nutraceutical approach to health and disease

脳障害編

Brain Damage Neurological Disorder

電気生理学や、その方法の重要性、脳の機能の検査法について



ルドミラジャヴァロンコヴァ医師 医学博士
(ロシア)

ロシア神経学研究所 首席研究員
ロシア科学アカデミー 会員
国際神経学会 会員

私は人間の頭脳の機能に与えるバイオ・ノーマライザーの効果

脳に損傷を受けた外科の患者にバイオ・ノーマライザーを使用したところ、脳機能の回復に効果があることがわかった。このことから、バイオ・ノーマライザーは血液脳関門を通過し、脳の生化学的システムに直接作用していると考えられる。この作用によって、脳の機能ばかりか、全身の機能が改善される。この研究は、チェルノブイリの被曝者に対して行いました。被曝後13年たって、被曝者には精神・神経系の障害が多く見られています。

スライド①に示されているとおり、被曝者には若い人が多いのです。このうちの多くの人が神経系の問題を抱えています。スライド②には、どのような神経障害が被曝者にあるかが示されています。エンセファロパシー、無力症、心血管障害、性的障害、そして筋肉障害などです。

スライド③の数字が示すとおり、患者の状態は改善され、精神・神経系の症状は軽くなっています。それに伴って、QOLがかなりよくなっています。表にはさまざまなQOLが改善されていることが示されています。

① 照射時間の年齢分布

The Age Distribution at the Time of Irradiation

Age Range	Number of Patients
<25 years	3
25-40 years	15
>40 years	12

② 被曝者に確認された神経障害の種類と分布

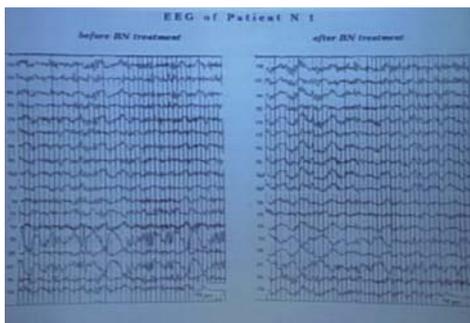
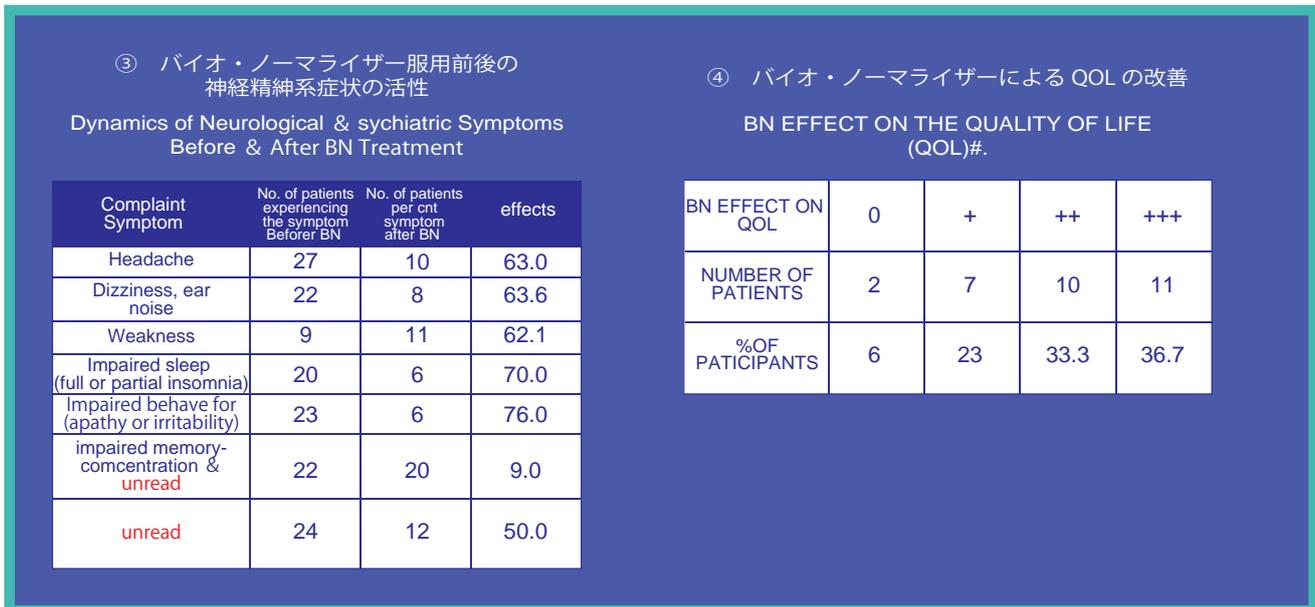
The Distribution of Pathologies in the Group of Participants

Type of Pathology	Number of Patients
Vascular encephalopathy	27
Asthenia & depression	15
Cardiovascular disorders	15
Gastrointestinal disorders	19
Kidney & sexual problems	11
Muskuloskeletal disorders	17
Impaired vascular tonus	9

このレポートは1999年9月3日に岐阜県の長良川国際会議場で行われたバイオ・ノーマライザー開発30周年記念パネルディスカッション「バイオパシー理論による治療現場からの報告とバイオ・ノーマライザーの今後の可能性」をもとに作成しています。DVDの詳細は大里三旺研究所 (Osato Suno Research Institute 略称 OSRI) のウェブページをご参照ください。

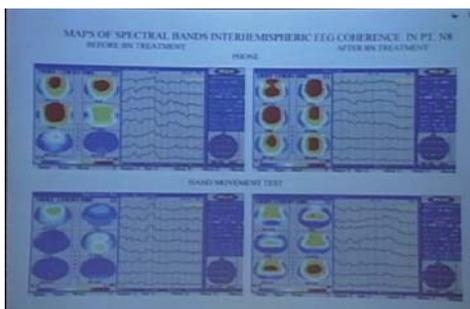
http://osri.asia/lab/30th_anniversary#Redox

スライド③の数字が示すとおり、患者の状態は改善され、精神・神経系の症状は軽くなっています。それに伴って、QOLがかなりよくなっています。スライド④にはさまざまなQOLが改善されていることが示されています。



左の画像①は、脳の機能状態を測定したものです。バイオ・ノーマライザー投与後、発作の回数の減少し、脳波の正常化が見られます。左のがグラフが治療前の異常な脳波で、右は治療後のグラフです。右は振幅が小さくなっていることがわかります。このことから、バイオ・ノーマライザーはさまざまな脳機能障害に効果があることが証明できます。

画像②は、生体電気的分析結果を数学的に処理したものです。赤い部分は脳の機能的結合を示しています。投与前と比べて、投与後、その部分が拡大していることがわかります。何もしていないときや、脳に何らかの負荷が与えられたときに、脳がどのくらい働いているかを調べたところ、バイオ・ノーマライザー投与後、脳の機能状態は明らかによくなっています。



画像③の一番上は脳の生体電気的分析の結果を数学的に処理し、平均値を求めたものです。この白い棒グラフが正常な脳の数値であるが、治療前のチェルノブイリの被曝者には、異常に大きな値と異常に小さな値の両方が見られます。しかし、バイオ・ノーマライザー投与後、値が正常値に近づいていることが確認されました。このことから、バイオ・ノーマライザーが正常化させる役割を果たしていることがわかります。

画像③の2番目のグラフは、脳内の生化学的反応が生じている部分に損傷がある患者の状態をあらわしています。このような患者たちに対して、バイオ・ノーマライザーの正常化作用が強く働いています。ほかの部分に損傷している患者に対する作用よりも、はっきりと強くあらわれていることがわかります。このことから、バイオ・ノーマライザーが血液脳関門を通り抜けて、脳の生化学システムに直接作用していると考えられます。

バイオ・ノーマライザーはさまざまな外傷に効くばかりでなく、代謝を活発にさせる作用によって、脳の機能障害だけでなく、全身の機能を高める働きをします。したがってQOLが改善されると考えられます。

